



2022年10月9日 佐藤新神父様によるミサ

教会と「聖徒の交わり」

助任司祭 伴 八郎 神父

11月は死者の月です。私たち信者は、ミサのたびごとに『信仰宣言』をしますが、その中で、『聖徒の交わり』という言葉があります。「聖徒の交わり」とは、キリストを頭とするすべての肢体である信者の交わりです。聖徒とは、すべての洗礼を受けた者、「交わり」とは、生きている人々と亡くなった人々との霊的な交わりです。私たちは、この世においては、信仰の旅を続けていますが、教会は、今生きているわたしたちだけを指しているものではありません。すでに、この世の生を終え、清めを受けている人々もいます。さらに、この世の生活を終え、神のみもとで主を賛美している人々もいます。教会は、キリストの霊によって一致しており、霊的な善を交換しています。戦いの教会（地上の信者全体）、苦しみの教会（煉獄で苦しむ靈魂）、勝利の教会（天国における聖人）と教会が3つの部分で構成されています。特にこの「勝利の教会」を構成する諸聖徒の中、筆頭に挙げられるのは聖母マリア、次に天使たち、そしてその他の諸聖人です。「聖徒の交わり」は地上の生活を超えます。それは死を超えて、永遠に続きます。わたしたちの一致はこの世を超え、来世においても継続します。この霊的な一致は洗礼によって生まれますが、死によって断ち切られることがありません。むしろそれは、復活したキリストにより、永遠のいのちにおいて完成するよう定められています。この世をまだ旅する私たちと、死の門を超えて永遠のいのちに入った人々の間には、深く切り離せないきずなが存在します。地上の洗礼を受けたすべての人と、煉獄の靈魂と、すでに樂園にいるすべての聖なる人々は、唯一の大きな家族を構成します。この地上と天上の交わりは、とくに執り成しの祈りによって実現されます。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(小聖堂)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
*ゆるしの秘跡は主日のミサ前に受けられます。

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ前、4時 聖体礼拝)
日曜日 午前8時・9時30分・11時・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後2時

◎教会学校中高生会合同キャンプ
キャンブ感想文②【小学生】

楽しかったキャンブ 萩原維人

ぼくは、教会学校のキャンブに行きました。一日目は、雨がふって、川遊びができませんでしたが、室内でたっ球をして、楽しかったです。

夕食は、バーベキューで、お肉、やきそば、ジャガバターを食べました。ツリーハウスにとまりました。初めてでわくわくしました。

二日目はラジオ体操をしながら、朝ごはんは、パン、たまごを食べました。その後千じょうじきに行くバスに乗って、三角道路を登って行き、ロープウェイに乗って、きりの中をぬけると、高い山々が見えました。とてもきれいで、遊歩道をハイキングして、宝剣山がくつきり見えた。帰りのバスで、野生のサルをみました。午後に、プラネタリウムで秋の星空と南半球の星空を見てきれいだっ。

温泉で露天風呂や薬湯に入りました。夜、キャンブファイヤーや、花火をしました。線香花火がパチパチして、きれいでした。

三日目に、川で水遊びをしました。一日目の分まで楽しめました。お花をつんで祭だんにかざって、感

謝のミサをしました。歌ったり、お祈りしたりしました。この三日間は、とても楽しかったので、来年もまた、みんなですたキャンブに行きたいです。



楽しかった秋のサマーキャンプ

いとう みさと

はじめの1日は、雨で川遊びができなくてざんねんだったけど、ホールでボール遊びやキャッチ

ツリーハウスの8のへやについて入ってみると思ったより、おへやが広くてびつくりしました。夜ごはんのバーベキューはすごくおいしかったです。

友だちのおへやにいてゲームのランプをしました。2日目は、ラジオたいそうをして、朝ごはんを食べたハイキングをしに行きました。まず、バスにのってロープウェイで山にのぼって山を一周しました。つかれたけどすごくきもちがよかったです。また、ロープウェイできた山をくだりました。

また、バスにのりました。さるがどうろに5ひきぐらいてすくくびつくりしました。

キャンプ場にもどり、お昼ごはんを食べプラネタリウムに行きました。星のことについていろいろおしえてくれました。こんど星座を見てみたいと思いました。

おんせんに入っておんせんのところにあるしよくどうで夜ごはんを食べました。キャンブファイヤーで歌をうたったり、ゲームをしました。すごく楽しかったです。花

びもきれいでした。3日目、ラジオたいそうして、朝ごはんを食べ、フオンチャンといっしょにバトミントンをしました。楽しかったです。ミサでじしやをしました。

たのしかったキャンブ

なるい ゆりこ

はいきんぐではろーぷうえいのつたのしくてけしきがきれいでした。やまのぼりはみずたまりとかがあつてたいへんでした。とちゅうでやつほーってしました。あんまりひびかなかつたです。

ぶらねたりうむではたくさんのせいざをみました。さそりざのことかわしくした。

きやんぶふあいやーでいろいろげーむをしたり、はなびをしたりしました。たのしかったです。



楽しかった秋のサマーキャンプ

武 花凜

はじめに1日めは雨で川遊びができませんでした。

2日めは、晴れでバスで山のとちゅうのところまでいきました。でもバスはゆれすぎて乗り物酔いするし動物がぜんぜんいないし、ハイキングをしたのでつかれました。

3日目は帰るじゅんびをして終わったのでたら、弟がいに子どもがいませんでした。リーダーにきいたらみんな川遊びに行ったときいたのでむかつきました。

キャンプ

フォンチャン

1日あめでしりもちをしてふくがよごれてしまいました。でもシャワーですっきりしました。つきに、ともだちんちにいたりしました。

2日キャンプファイヤーをしたあとに花火をしました。ひるは、ハイキングとプラネタリウムとおんせんにいきました。楽しかったです。

3日バトミントンもミサもしました。川あそびもしました。さいごには文をかいいたりあそんだりしました。

武 たくま

キャンプファイヤーと水でつぼうが楽しかったです。

しんぷさまとたくさん、はなしをしたり、あそんでたのしかったです。

楽しかったキャンプ

伊藤 大翔

1日めの天き雨 ながのけんの駒ヶ根市のキャンプ場に行きました。

キャンプセンターの2かいでボールをとられないゲームをしました。バーベキューをしました。おいしかったです。

2日大はれです。今日はキャンプファイヤーとか

トランプをやりました。3日ははれで、今日はかえるひです。じしやをやりました。

さとだ えみか

ハイキング、おんせん、キャンプファイヤー、ごはん、ツリーハウス、サル、ポップコーン、ミサ、プラネタリウム、うた、川あそびぜんぶ、たのしかった。

ハイキング

さとだ はつほ

バスに乗りました。バスに乗って見えて良かったです。ロープウェイに乗りました。

たきもいっぱい見えました。

山をのぼっているとときに池にトンボがたまごをうんでいるところをみえました。もとの場所について少しかれました。ロープウェイのり

バスにのつたらさいしよより日本ざるを5匹見ました。ごはんを食べました。プラネタリウムに行きました。楽しかったです。またいきたいです。

楽しかったキャンプ

わたなべ ちなつ

教会学校のキャンプは、すごく楽しかったです。私は、うたうことがだいすきです。こまがね教会では、みんなでじょうずにうたをうたえてきれいでした。よるはツリーハウスというおうちにとまりました。かぞくでわかれてとまりました。私は友達へのやにいたり、私のへのやにきてもったりしてあそびました。また、はじめてねぶくろでねましたが、からだじゅうがあたたかくて、ぐつすりねむれました。

つぎの日は山へハイキングに行きました。ロープウェイのりしましたが、く

ものの中に入ったときまわりが白くなってすごいと思いました。また帰りのバスでは、なんとサルがいてびっくりしました。みんなでおんせんにも入りました。せいちゃんがいっしょにサウナに入ってくれたり、えみかちゃんと水ぶろに入ったり、とてもきもちよかったです。

私は土よう日によるまででしたが、らいねんも行きたいです。



オーバーアマガウの受難劇

太田達也

この夏、出張の折に南ドイツのオーバーアマガウに足を伸ばし、同地の有名な受難劇を見てきました。オーバーアマガウの受難劇

は、ペストが大流行した1633年に「もし蔓延が収まったら感謝のしるしとして10年ごとに受難劇を上演する」と約束したことに端を発すると言われていて、非常に古い歴史を持つものです。幸い被害が少なかったオーバーアマガウでは、これを神の御加護の証だとして、1634年以來じつに380年以上もの間、10年に1回、受難劇を上演し続けています。予定されていた2020年はコロナウイルス感染拡大のために上演が2年延期となり、今年2022年によく上演されました。第1部が2時間半、夕食を挟み、第2部も2時間半、計5時間という長大な劇で、すべてドイツ語で演じられます。

10年に1回とはいえ、上演の年には100回以上もの上演があり、年間で50万人もの観客が世界中から訪れるため、ふだんは静かな小さな村が上演の年だけは賑わいになります。村にはこの劇を上演するための巨大な劇場があり、上演期間中はさまざまな国からやって来た人々で埋め尽くされます。

2022年はまだコロナ禍の影響もあってか、私は日本人らしき観客には1人も会いませんでした。2010年以前に行かれた方もあるでしょう。

特徴的なのは、村人のじつに半



とられていません。つまり、ふだんはホテルやお店で働く村人や学生たちが、上演日には舞台上でイエスの弟子であったりイスラエルの民であったりするわけです。

しかしその演技と演奏のレベルの高さは驚嘆に値するほどで、とてもアマチュアとは思えませんでした。私はほぼ最前列で見ましたが、その迫力と熱気を肌で感じることができました。イエスの伝道、捕縛、裁判、磔刑、復活などの各場面を間近に見て、信仰心にも強く訴えかけるものがあり、感動的でした。舞台の上は一部天井がないため、イエスが神殿で売買している人々を追い出して両替人の台や鳩を売る者の腰掛けをひっくり返す場面では、実際に鳩が籠から解き放たれ、また舞台には本物のろばや馬が登場します。音楽はオーバーアマガウ出身のロフス・デードラー(1779-1822)が作曲したオラトリオ風のもので、序曲、合唱曲、レチタティーヴォ、

オーバーアマガウはカトリック信者にはおすすめの場所です。というのも、他の町ではなかなか見かけない木像彫刻のお店が、ここにはとてもたくさんあるのです。私も美しいマリア像と十字架を入手し、ひっそりと部屋に飾っています。日曜日には村の美しい教会でミサに与ることができました。こちらもぜひ行かれてみてください。
*こちらのサイトで劇の様子が少し見られます。
<https://www.passionsspiele-oberammergau.de/de/spiel/spiel>

典礼一口メモ「香部屋の窓から」

第56回 「叙唱と感謝の賛歌」のお話 典礼委員長 新内飛鳥

祭壇に感謝の祭儀の準備が整うと「皆さん、ともにささげるこのいけにえを、全能の父である神が受け入れてくださるよう祈りましょう。」と司式司祭は招きます。一同は司祭とともに沈黙のうちに祈るか、あるいは次のように応えます。「神の栄光と賛美のため、またわたしたちと全教会のために、あなたの手を通しておさげするいけにえを、神が受け入れてくださいますように」この言葉も「祈り」ではあります。ここで司祭が「祈りましょう」と呼びかけたのは、「奉納祈願」です。

数近くがこの劇の上演に携わっていることです。1回の上演には、イエスや弟子たちなどセリフのある役や、群衆役の多くの大人たち、子供たちのほか、64人の合唱団と57人のオーケストラが舞台上ないしオーケストラピットで演じ、歌い、演奏します。これを週に何度も上演するために交代制が

ミサの儀式において信者は聖なる民、あがなわれた民、王の祭司となつて神に感謝をささげ、また司祭の手を通してばかりではなく司祭とともに汚れないけにえを捧げ、そして自分自身をささげるように努めます。それゆえ信者は深い宗教的感情によって、また、同じ祭儀に参加している兄弟姉妹に對する愛によって、それを表すように配慮することが望ましいのです。奉納祈願は「……私たちの主、イエス・キリストによって」「アーメン」と結びます。

「主は、皆さんとともに」「またあなたとともに」「心をこめて」「神を仰ぎ」「賛美と感謝をささげましょう」「それはとうとい大切なつとめです。」「こうして叙唱前句が応召されます。祭儀全体の中心であり頂点である「感謝の祈り」つまり「奉献文」すなわち感謝と聖別の祈りが始まります。司祭は会衆に祈りと感謝の内に心を主に向けるように招き、共同体全体の名によってイエス・キリストを通して父なる神に捧げる祈りの中で、会衆とともに一つになりま

す。「聖なる父、全能永遠の神、いつどこでも主キリストに賛美と感謝をささげることは、まことに尊い大切な務めです。」「こうして始まる叙唱は「神の意向をあが

め、権能を敬うすべての天使とともに、わたしたちもあなたの栄光を終わりにほめ歌います。」「と「感謝の賛歌」に繋がります。「聖なる、聖なる……」こうしたことから「感謝の賛歌」は平日のミサでもできうる限り「歌われる」ことが望ましいのです。奉仕者が少ない、先読みの人に負担がかかる。諸々の事情でたいいは歌わないで唱えられてしまいますが、わたしの体験では修道院とかではなく小さな小教区の朝ミサで司祭含め3〜4人のミサでしたが毎朝歌われていた教会もありました。南山教会もそうだといいなつて純粹に憧れました。さておき、教会は天使たちが天で神に歌っている栄光と賛美の歌を、わたしたちに繰り返させます。この応唱は感謝の祈りである奉献文そのものの一部をなしているのです。会衆全体が司祭と共に歌います。聖なる、聖なる、聖なる神、すべてを治める神なる主。主の栄光は天地に満つ。天には神にホザンナ。主の名によって来られる方に賛美。天には神にホザンナ。

聖ヨハネパウロ2世記念展

10月23日

聖パウロ2世の貴重な品の数々に感動しました。ありがとうございます

います。ゼノ修道者が配られています。カードも展示してあり、当時の学校のことを少しだけですが、頭によぎり喜びのうちに配られていたのだらうとか、寒い日もどんな時も配られていたのかなと思いました。自分の使命にいつも考えさせられる時もありました。感謝いたします。…南山教会M

1981年2月の来日は私にとつて入信、受洗を決意させ、その後の人生の大きな転機となった出来事です。来日の3日間の為だけに一生懸命日本語を学ばれ、日本語でメッセージを話されたことの意義についてヨセフピタウ大司教の証言がとても印象深かったです。…南山教会YK

30年以上前、ヴァチカンでミサに与かった折り、パパ様の語られた言葉が日本語である事に驚いたことを思い出した。日本語が得意なことというのではなく、本当に謙虚で信者のために努力され祈られた方だったということがわかりました。貴重な展示の機会を頂きましたことを感謝致します。

神言会が保存されていた大切な貴重な資料を分かち合つて展示してくださいありがとうございます。記憶を遡る楽しみ、振り返る大切さを感じました。ありがとうございます

ヨハネパウロ2世がご存命のときにバチカンのサンペトロ広場でお会いできました。もう30年近い前のことです。洗礼を受けて間もない頃で大きなお恵みを頂きました。南山教会RK

とても良いバチカンミニ展を見せて頂きありがとうございます。最初に教皇さまが日本に見えた時にテレビで映像が流れているのをずっと見ていて「この方は素晴らしい、とてもすごいオーラ」を感じました。大学生の時だったと思います。偶然ながらも宗教の勉強をしていましたので（まだ信者ではなかったですが）何かのつながりを感じました。いつか、この方に逢つてみたいと。今はカトリック信者になれた事はこの時の何か、導いて下さったのだと思えます。南山教会EA



ワンポイントひらめき
秋元恭子

信仰と忍耐は対です。困難や苦しみにあつた時、立つべき所はイエス勝利に立つ！信仰です。イエス勝利に立ち続け、事態が変わるのを待つ。それにより忍耐ができ、必ず心が強められ、助けられます。

11月6日

司祭団より

皆様のご協力に感謝しております。

亡くなったケレハ神父様のご親族が来日されて南山教会にもお越しになりました。昨日（11月5日）、多治見修道院の会員墓地でささげられた修道会のミサに参加されました。

報告・連絡事項

1. ナザレ館建築の進捗状況について

丸尾様より、先回から特に変更はなく進んでおります。中に入れるようになるのは12月中旬以降です。

12月30日に祝別をして、1月22日に司教様のスケジュールが抑えられるので竣工式をしたいと思っております。

2. その他

10月22日開催教区宣教司牧評議会から抜粋報告

①敬老の日の敬老祝賀カードについて、今年75歳以上になられた方へ331枚程発送（昨年は237枚）しました。

②2023年度の教区新成人の集い

が、1月22日（日）の14時からカトリック布池教会で行われます。

審議・相談事項

1. ナザレ館竣工式について

バザー委員会より、バザーは中止です。代わりにナザレ館竣工式を行います。計画について配布資料に基づき説明がされました。

飲食物の提供は行いません。

司教様のスケジュールの関係もあり1月22日（日）9時30分のミサ後に行う予定です。寒い時期の為、式自体の所要時間は長くとも30分程にする予定です。気候がよければ式後分かち合いが行われます。当日、11時のミサは中止になります。

雨天時は聖堂で行います。長時間立ってられない方の為にマリア館倉庫にあるパイプ椅子を30脚程並べます。

中庭でのレイアウトについて、前列に椅子があり、椅子の後ろ側に立つて行うこととなります。

記念品等の細かい内容はこれから設置される実行委員会にて詳細を協議していくこととなります。

2. クリスマスマシサについて

「クリスマスミサ実施要綱案」について説明がされました。134名（増員検討中）の入場制限を行います。

24日のミサは事前予約制とします。随時、各会が準備を行っていき募ってまいります。

当日、ご奉仕いただける方を11月13日に「南山教会でのクリスマスミサの実施について」という案内を配布・掲示して予約の案内等を周知します。

当日、受付業務を厳格に行いすぎると入場に時間が掛かってしまいミサに支障をきたします。スムーズな受付に心がけることとします。

昨年、席を指定されることに対して苦情があり、受付作業に支障をきたしました。案内及び予約券にあらかじめ苦情にならないように注意書きをした方が良いという意見が出ました。

予約時には予約券への記入はその場で行っていただきます。昨年、持ち帰って書くからと言って来られない方などがいらつしやいました。

3. 教会の設備に関して(音響等)

前回業者に見ていただいた際の見積もりが400万円以上と高額だったので、色々と見直して現状150万円以内で調整中です。

また、電気契約について現在エネオス電気と契約をしております。エネオス電気から上限の撤廃の案内が来ております。対策として中部電力も認めている電子ブレーカー（配布資料参照）を導入すると電気代を抑えることが出来ます。当然、電子ブレーカーは中部電力が検査します。

他の製品の有無、メンテナンス、保証について確認の上契約します。

冬季換気対策として工業用扇風機を2台購入する。

以上3点について一括で承認されました。

4. その他

配布資料「今後のコロナ対策について」

前までに入堂していただくようお願いいたします。遅れた場合は当日券の方々に入堂いただくことなる

こともありますが、遅れてこられる予約者へは司祭の判断の元で柔軟に対応します。

各情報が多まりましたら評議会のメンバーに内容をメールでお送りします。

他教会の情報を集めると少しずつ一部の聖歌を歌い始めたり代表者

の方が歌っております。席については列を開けずに間隔をとって座っております。

他教会は、除染の担当者がいらつしやいますが南山教会は広いので今の方法の方が良いと考えます。

南山教会として、今後「今後のコロナ対策の指針」を定め、新型コロナウイルスの状況に合わせて徐々に対応を変化させていきます。

先週、司祭評議会にて待降節から聖歌の再開が可能か協議されました。教会の規模による違いもあります。まずは代表者による独唱から始めたいと思っております。

11時のミサを続けるかについても協議することとします。

席については、他の教会ですべての列を使用してもクラスターが起こっていないため、換気を徹底した上ですべての列を使い横の間隔を広げることを検討しています。

奉納行列は奉仕者の兼ね合いもあるので9時30分のミサだけ待降節の第一主日（11月27日）から再開します。

入堂の行列についても同様とします。

クリスマスツリーの設置について

典礼委員会

クリスマスツリーの設置をいつ行いかの相談がありました。12月10日にクリスマスコンサートがあるのでそれまでにといい意見がありました。

12月4日の8時のミサ後に設置をすることとなりましたので、9時30分のミサの参加者の方々と早く来ていただき設置を手伝ってください方を募ります。

◎各会報告

◎要約筆記の会

新しいミサ式次第導入時、11月27日（日）全時間帯のミサで式文をスクリーンにあげる奉仕をします。

11月26日（土）は要約筆記付きミサ。

◎典礼委員会

11月5、6日 すべての主日のミサが共同体に縁のある全ての死者の為に捧げられました。

全ての主日ミサ後「新式次第」の読み合わせを行いました。

11月13日 9時30分ミサ「七五

三の祝福」
11月20日 9時30分ミサ「入門式」

12月4日 9時30分ミサ宣教地召命促進の日にあたり、神言神学院

の共同体がミサの司式・奉仕を行います。

12月10、11日待降節の共同回心式 すべてのミサ
12月4日8時のミサ後クリスマスツリーの設置を行います。

次回評議会12月4日

追悼ミサ ヨセフ館納骨堂

11月6日



フォン神父様 ベトナム帰省のお写真 Ver 2



聖歌隊



主日の子どもミサ

名古屋教区設立100周年の祈り

すべてをつくり、いづくしみの心をもって
歴史を導かれる神よ、名古屋教区設立100周年を迎えられたことを私たちは心から感謝します。この地にまかれた福音の種は、先人たちの深い信仰と宣教の熱意によって、激しい迫害の時代を乗り越え、450年後の今日まで受け継がれてきました。そして今、名古屋教区は国籍を超えた神の国のしるしとなる共同体として、新しい時代へと漕ぎだしていく時を迎えています。これからどんな困難があろうと、キリストがいつも共にいてくださり、限りないいづくしみの心をもって導いてくださることを信じています。主がいのちをかけて示して下さいました喜びの福音を、一人でも多くの人が受けとり、主と出会うことができますように。また、わたしたちが無関心を遠ざけ、すべてのいのちを大切にすることができるよう、聖霊によって励まし、世に導わしてください。母である聖マリア、わたしたちは「小さな群れ」の教区ですが、キリストの思いをしっかりと携え、いのちへの道を希望をもって歩むことができるようお祈りください。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

※教区100周年にあたり、巡礼記事を募集します。詳しくは、広報委員まで

信者の消息

帰天 神の栄光にあずかれますように

アウグスチヌス 二村 六郎 (95歳)

マリア 酒向 となえ (99歳)

ナザレ館建設進行状況



2022年11月 - 12月行事予定表

	教会典礼暦	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
11月	死者の月 1(火)諸聖人の祭日 2(水)死者の日 9(水)ラテラン教会の献堂 20(日)王であるキリスト 27(日)待降節第一主日(A年)	(日)予算審議開始 6(日)14:00追悼ミサ(大聖堂) 13(日)子どものミサ(七五三) 20(日)9:30入門式	5(土)典礼委員会 6(日)南山小教区宣教司牧評議会 11(金)マリア会例会 20(日)ヨセフ会班長会・教会周辺清掃、エマオの会 19(土)子ども部屋 26(土)要約筆記付きミサ	6(日)東八事第二墓地合同追悼ミサ 19(土)レジオマリエ名古屋クリア 20(日)~27(日)聖書週間 20(日)城東ブロック会議
12月	8(木)無原罪の聖マリア 25(日)主の降誕 30(金)聖家族	(土)(日)共同回心式 24(土)主の降誕の前夜ミサ16:00(要約筆記付き),20:00(日英合同), 24:00・21:30 25(日)主の降誕ミサ(10:00; 19:00) 31(土)10:00旧年感謝ミサ 23:00聖体礼拝・新年の祝福	2(金)マリア会例会(懇談会) 3(土)典礼委員会 4(日)運営委員会 (日)ヨセフ会班長会・教会周辺清掃 17(土)子ども部屋クリスマス会・ 中高生会クリスマス会 18(日)教会学校クリスマス劇 24(土)要約筆記付きミサ	4(日)宣教地召命促進の日(献金) 17(土)レジオマリエ名古屋クリア